

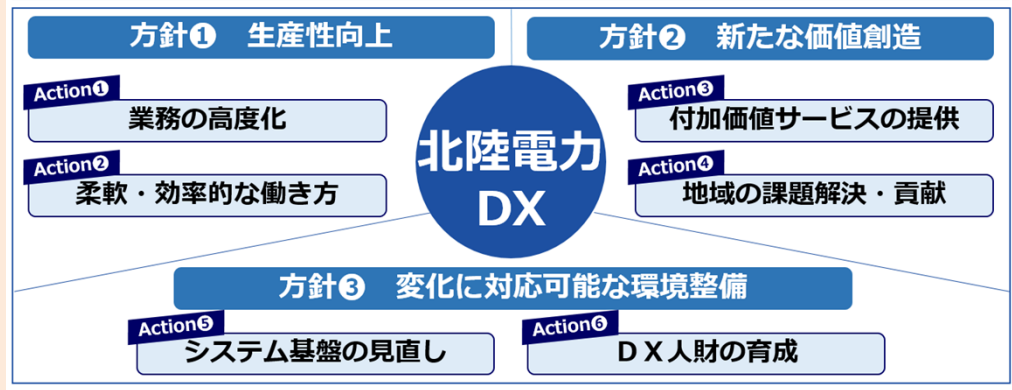
- 4D（脱炭素化、分散化、デジタル化、人口減少）の動きが加速するなど、当社を取り巻く環境は大きな変化に直面しています
- 当社は、積極的にDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組み経営環境の変化に柔軟に対応し、電力の安定供給確保を大前提に今後も生産性向上を図ります。また、電気事業の枠に捉われず、お客さまや地域の課題解決に資する新しい付加価値を創造するなど、DXでビジネスを加速・進化させてまいります
- 今回、DX戦略として掲げた、3つの方針、6つのActionのもと、本年7月に経営企画部に設置した業務改革・DX推進プロジェクト室、各主管部に配置した業務改革担当を中心に、グループ会社・外部パートナーとの協働によりDXを推進し、「新中期経営計画」「2050年の将来像」の実現を目指してまいります

DX戦略の全体像

設定した方針・施策によりDXを推進し、「新中期経営計画」「2050年の将来像」の実現を目指していく

■ 2050年の将来像
地域とともに、持続可能なスマート社会を目指して
■ 新中期経営計画の経営の3本柱

- 柱Ⅰ 安定供給確保と収支改善および財務基盤強化
- 柱Ⅱ 地域と一体となった脱炭素化の推進
- 柱Ⅲ Ⅲ.持続的成長に向けた事業領域の拡大



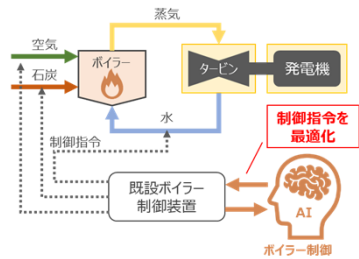
方針① 生産性向上

Action① 業務の高度化

電力の安定供給確保を前提に、AI技術の活用・継続的な精度改善により業務の高度化に取り組み、生産性向上を図ります。

■ AI技術の活用によるボイラー制御最適化

AIを活用したボイラー制御最適化システムを導入することで、燃料投入量の最適化を図り、燃料費を削減。



<システム全体概要>

制御状態を常時監視し、最適な制御指令を演算・出力することで、燃料の過投入を削減。

Action② 柔軟・効率的な働き方

デジタルツール活用のためのシステム環境・制度を整備し、社内業務の生産性の向上に止まらず、コミュニケーションの活性化等社外も含めた柔軟・効率的な働き方に取り組みます。

AI・自動化・ツール活用

- ✓ RPAによる業務自動化
- ✓ 電子契約による契約業務の簡素化
- ✓ ノーコードツール活用
- ✓ 生成AIの業務活用
- ✓ 監視業務リモート化

■ ダム監視制御のリモート化

遠方監視制御装置を導入し、水力センターからリモートでダムを監視・制御することにより、ダム監視員を削減。



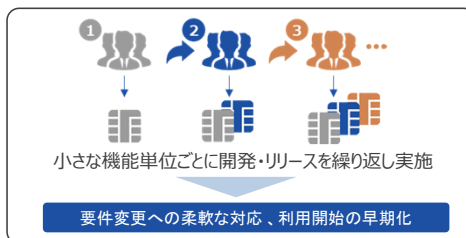
方針③ 変化に対応可能な環境整備

Action⑤ システム基盤の見直し

社会・経営環境の変化に「迅速・柔軟・低コスト」で対応するため、システム基盤の見直しを進めます。

■ 機能単位ごとの開発(アジャイル型開発)の実施

システム・業務の性質に応じてアジャイル型開発を適用し、要件変更への柔軟な対応、システム利用開始の早期化を実現



Action⑥ DX人材の育成

デジタル技術を活用し各自の業務を効率化するスキルを身に付けるだけでなく、部門・全社のDXを推進していく「DX推進人材」や「DXコア人材」を育成します。

■ 目指す人材像

- スキル**
高度なデジタル技術とデータを適切に活用できる人材
- マインド**
常に現状の在り方に疑問を持ち、変化・失敗を積極的に受け入れ挑戦し続ける人材
- アウトプット**
ビジネスモデルや業務プロセス、企業風土の変革を推進し、新たな価値を創造する人材



方針② 新たな価値創造

Action③ 付加価値サービスの提供

お客さまにより便利に電気をお使い頂けるよう、電気には+αの価値を付加したサービスを提供します。

■ 会員サービス「ほくリンク」のサービス向上

使いやすく一新した新ほくリンクアプリ、「リクプリ」を提供。更に魅力ある会員サービスとなるよう継続して新サービスを拡充。

より見やすく

電気料金、ほくリンクポイント残高を一目で確認

Push通知で毎月の電気料金やお得情報を配信



より早く簡単に

ほくリンクポイントが電子利用可能に！2通りのポイント交換方法で簡単利用！

- 方法①：お買い物時にポイントをすぐ利用
- 方法②：提携先のポイントに交換して利用



Action④ 地域の課題解決・貢献

「デジタル技術で快適な暮らし」を実現するため、既存の電気事業の枠に捉われず、幅広く地域の課題を解決するサービスを提供します。

■ クマ被害のお困りを解決するAIサービスの提供

カメラ画像から、AIで特定の害獣（クマ等）を検出し、自治体や警察、消防等へ通報する装置を提供。遠隔監視、人的被害防止、農作物被害防止および関係者の安全確保と負担軽減に貢献。

リアルタイム通報

